

やまゆり
ニュース vol.422024
2

麻生市民交流館やまゆり



金程どんどこ焼き



山茶花



水仙



庭に植えられた甘夏柑は豊作の年ばかりではありませんが、サポセンの企画はどうしても毎年豊作を期待されてしまいがちです。

振り返れば、サポセンの数多い企画の大部分が無事終了、または進行中となった今、その一つ一つがしっかりと実を結んでいる様子を思うにつけ、やはり安堵とともに嬉しさがこみ上げてくることに気付かされます。

これからも多くの市民に「やまゆり」に集って、可能ならその運営にも携わっていただき、毎日毎日をひとつずつ豊かで楽しい時間に変じ続けていただければと思います。

【写真は中山正夫撮影】

認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター 理事長 中山正夫

2024年も
やまゆりに集まろう！

金縷梅



梅



蟬梅

自宅の西側の窓を開けると、目の前にたわねに実を結んだ甘夏柑の木があります。とても数えきれない大きな黄色い実を見ているだけで、豊かな気分になり、また嬉しくなるのです。

す。それゆえに企画委員や制作に携わる多くのボランティアスタッフは、プレッシャーを感じつつも、各企画が成功裏に幕を閉じるたびに、達成感と充実感を味わいながら喜びに浸ることができるのだと思います。

こうして我々は、長年の会社勤務や子育てを終えても、世のため、人のためというばかりではなく、自分の心身の健康のために、地域社会との繋がりを維持することの大切さを実感するのではないのでしょうか。

長寿の街麻生区ならではの、誰もが心身の健康と豊かさを実感することができる「やまゆり」という仕組みがあることの幸せを、市民のみなさんと末永く共有できたいと思います。

やまゆりニュース vol.42 目次

- 4面 区民講師公開講座参加者募集
- 3面
- 安心・安全
楽しく歩いて健康に。
獲得ポイントは子どもたちに。
サプライズ
広大な遺跡に古代人の生活の跡を偲ぶ
 - アミューズメント
もっと楽しませたい
—志らびーさん—二つ目昇進一年
 - お役立ち情報
麻生区で「100人カイギ」がスタート

4月に
印刷機が新しくなります！

現在、印刷室には2色刷りが可能な印刷機のほか、紙折り機、断裁機、丁合機を備えており、皆様にご利用いただいています。

これら一式は3月末で撤去し4月に新しい機器に入れ替えることを検討しておりこれから機種選定に入ります。計画ではフルカラー高速印刷機（丁合機構付き）、紙折り機、断裁機を導入する予定です。

ご利用開始時期、方法や料金体系につきましては決まり次第、ホームページなどでご案内します。





楽しく歩いて健康に。獲得ポイントは子どもたちに

川崎市では、ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」を活用した健康事業を、昨年の10月から行っている。

参加者は、歩いてアプリ内で貯めたポイントを応援したい川崎市立の小学校（小学部のある特別支援学校を含む）から選んで寄附する。さらに、寄附したポイントに応じて付与されるチケットで、川崎フロンターレや川崎ブレイブサンダース、協賛企業などからの応援特典の抽選に応募することができる。

一方、学校では、寄附されたポイント数に応じた応援金を市から受け取り、子どもたちの学校生活を充実させるために活用する。

全体設計は、市民の健康意識を高め、その運動成果を子どもたちの学校生活に還元し、健康と優しさが循環する「健康循環社会」の構築を目指すもの。

「かわさきTEKTEK」という名称は、歩いた成果を本人だけでなく、子どもたちに還元していくことから、T…楽しくE…笑顔で K…健康に T…貯まった E…笑顔は K…子どもたちに、という意味を込めている。

そこで、ポイントプログラム

はどうなっているか。

今年度は、初回登録ボーナスとして2000ポイント、毎日2000歩達成で5ポイント、5000歩達成でさらに5ポイント、8000歩達成でさらに10ポイントで計20ポイントになる。なお、100ポイントごとに寄附ができ、10ポイントを1円に換算する。

今年度のポイントの獲得期間は、3月31日まで。また、応援特典の申し込み期間は、3月1日から31日までを予定。

アプリ登録者は昨年末時点で3万7000人を超えている。2020年、平均寿命日本一となった麻生区にとっても、健康寿命を伸ばす良い機会。

事業主体は、川崎市健康福祉局保健医療政策部。問い合わせは、カラダライブラリーコールセンター ☎0570-077-122 へ。



「かわさきTEKTEK」アプリのイメージ画面（川崎市提供）

アプリのダウンロード



iPhoneの方



Androidの方



広大な遺跡に古代人の生活の跡を偲ぶ



広い高台を埋め尽くす土坑や住居跡に感動

麻生区早野の高台には、1500平方メートルに及ぶ広大な上ノ原遺跡があり、2007年から2023年まで7次にわたって発掘されてきた。記者は、2023年11月3日の川崎市文化財課による第7次現地見学会取材した。

ここには3万年前の旧石器時代から人が住み始め、縄文時代に56軒、弥生時代に21軒、古墳時代に15軒、奈良・平安時代に9軒の竪穴住居跡が発掘されている。縄文をピークに弥生以降住居が減少したのは、農耕に適した低地に移住したと推定される。縄文時代からは、獣を捕らえる落とし穴や井戸も見つかっているほか、中世から近世にかけては、道路状遺構や

土坑（ある程度の大きさと深さの掘り込み）などが確認されているので、生活圏であったと思われる。

住居跡のほかには黒曜石の石器、土のまが玉、土器などが出ているが、骨は出ていない。その理由はこの土が富士山の噴火による堆積物で、酸性が強いため。貝塚があると中和されて骨が残ることがあるとのこと。

まだ手付かずの場所があり、発掘は2024年以降も続くとのこと。早野聖地公園に至る道を途中で右折し、戒翁寺に至る急な坂道の先に遺跡がある。普段は囲いの外からの見学になるが、時折、川崎市文化財課の広報で通知され、見学会が開かれる。興味のある方は訪れて欲しい。



縄文時代の竪穴式住居跡（柱の跡が多いのは増改築を重ねたから）



もっと楽しませたい——志らびーさん、二つ目昇進一年



さらに芸域を広げようと意欲満々の志らびーさん

※今後の「やまゆり」での「落語アリマス」は2月18日、3月30日の予定。その他の出演予定、予約などは「立川志らびー公式ウェブサイト」参照。

「麻生市民交流館やまゆり」で毎月、落語会を開いている若手の噺家、立川志らびーさん。前座から二つ目に昇進して過ごしたこの一年は、ひととき充実した日々だったようだ。

麻生区とは隣り合わせの町田市三輪町で生まれ育ち、山形大を卒業したのち、2016年春、立川志らく師のもとに入門。およそ7年の前座修業を経て23年1月、晴れて一人前の落語家として認められる二つ目昇進を果たした。「やまゆり」との縁はもう5年目。前座時代は「しんゆりワンコイン落語会」を17回にわたって開き、二つ目昇進以降は「立川志らびー独演会 落語アリマス in 新百合ヶ丘」とタイトルを変えて、昨年末までに10回の公演を重ねている。二つ目になってからは都内や山形でも会を開いたり、立川流の寄席に出演したりしているが、こ

れからも、ホームグラウンドともいべき新百合ヶ丘で元氣いっぱいの高座を務めていく思いに変わりはなく。

「自分で（落語家としての）居場所をつくってきたという思いがあります。新百合ヶ丘の会は、自分でつくった最初の居場所なので、大切にしていきたいですね。これからも月に一回のペースで続けていくつもりです」

「前座時代は、師匠の言う通り、忠実にやろうと思っていました。二つ目になってからは、とにかくお客さんに楽しんでもらいたい。と。どうやってお客さんを楽しませるかを、いつも考えています」

上昇一途の31歳。明るく元気な芸が持ち味だが、ことしは「肩の力を抜いて、軽く、気持ちよく聞かせることも身につけたい」という。2024年は、さらなる成長が期待できそうだ。



麻生区で「100人カイギ」がスタート



富長代表はあさお希望のシナリオ実行委員会役員。「人財育成チーム」のチームリーダーを務めている

「100人カイギ」は、2016年、東京都港区で開催されたのがはじまり。2024年1月までに、全国110の地域で実施されている。街で働いている「身近な人」の話を聴き、参加者同士がゆるやかにつながり、地域の価値を再発見することを目的としたコミュニティ活動。『ゲストが100人になったら会を解散する』が唯一のルールだ。

毎回5名のゲストスピーカーを招き、その人の仕事、活動、生き方、夢や願いなどを自由に話をしてもらおう。10分という制限時間内に登壇者が話す内容は、いずれも個性的で魅力があり、目から鱗の内容も飛び出す。麻生区では昨年12月10日に第1回が開催された。

中心となって進めてきたのは富長勇哉さん（23）。教員を目指し大学で勉学に励む傍ら、実行委員会委員長として東奔西走している。

「区内でゆるやかなコミュニティをつくりたいと思ったのがきっかけ。宮前、多摩、中原区でも開催され、麻生区でも新たなつながりをつくりたいと思ってはじめました。僕も麻生区に23年住んでいて、まだまだ知らないことの方が多い。いろいろな人の話を聴き、たくさんの方に来ていただき、ひとつでも多くのつながりを増やしたい。まだ知らなかった麻生区の良いところや、地元で活躍されている人を知る機会になってくれれば嬉しい」と語る。登壇者の話を聴くだけでなく、自らも麻生区でやりたいこと、やってみたいことを発信するきっかけにもなりそうだ。

第3回目は2月11日に麻生市民館第1会議室で開催予定。参加費1000円（18歳以下は無料）。登壇者の詳細や参加申込はホームページから。



「川崎麻生区100人カイギ」第2回目は1月14日しんゆり交流空間リリオスで開催



<https://100ninkaigi.com/area/kawasaki-asao>
問合せ【メール】asao100ninkaigi@gmail.com



2024年 第14回

区民講師公開講座 参加者募集

受講料
無料

2024年4月～6月、麻生交流館やまゆりで区民講師公開講座が開催されます。1講座ごとに申し込むことができます。お気軽にご参加ください。



昨年の区民講師公開講座の様子

4月

受講受付: 3月1日より

6
土

14:00
|
16:00

太極拳

90歳になっても元気なままでいられるよう、太極拳を体験してみませんか?

講師
田代 恵理子

20
土

14:00
|
16:00

必ず首都直下・南海トラフ巨(大)地震 ～どうなる、どう備える～

些少な対策で叶う自立・自衛ガイド

講師
谷 和信

28
日

14:00
|
16:00

谷リエ子の聴いてふれるシャンソン史 ～講演とミニコンサート～

聴いてふれる統括シャンソン史

講師
谷 リエ子

5月

受講受付: 4月1日より

18
土

14:00
|
16:00

「音名」「音符」「休符」「リズム」「ピアノ」に触れて楽しみましょう♪

6歳からシニア世代まで対象!音を楽しむ2時間です

講師
近藤 みゆき

25
土

14:00
|
16:00

地震は何故おこるの?

地震は突然発生。そのメカニズムと被害を簡単に解説

講師
澤田 英夫

6月

受講受付: 5月1日より

1
土

14:00
|
16:00

江戸時代の王禅寺村を語るための序章 ～近世の農村社会の変遷～

江戸時代には日曜日という概念はありません。農民たちにお休みはあった?

講師
小林 基男

8
土

14:00
|
16:00

はじめての手まり 基礎から学べる初心者向け講座

針と糸で、あなただけの手まりを作りませんか?

講師
溜口 恵子

15
土

14:00
|
16:00

ガーデン雑貨を作ろう モルタルで作るガーデンピックとリメイク鉢

モルタルでガーデンピックとリメイク鉢を作ってみよう!

講師
角田 由紀恵

申込方法

各講座の詳細は、それぞれのチラシをご参照ください。開講月の1か月前までに公示されます。受講受付は、開講月の前月1日からです。先着順での受付で、定員になり次第締め切ります。受講申込みは、チラシ裏面申込書に記入して、「やまゆり」窓口へご持参いただくか、FAXで提出して下さい。

お問い合わせ ☎ 044-951-6321 Fax. 044-951-6467

麻生市民交流館やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日

月～金 9:30～17:00
平日の夜間 ～20:15
※土・日・祝日も予約をすれば利用可

休館日

年末年始、施設点検日

アクセス

小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分

住所

〒215-0021
川崎市麻生区上麻生1-11-5

TEL

044-951-6321

